

2026 年度

産業動物獣医師地域枠特別選抜個別学力検査

獣医学部

小 論 文 問 題 冊 子

1～4 ページ

解答時間 60 分

注 意

解答始めの指示があるまで問題冊子を開かないこと。

- (1) 問題冊子の他、解答用紙 2 枚、下書き用紙 2 枚が同封されている。試験始めの指示の後、確認すること。
- (2) 解答開始後ただちに、すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
- (3) 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入し、裏面は使用しないこと。下書きには、下書き用紙を使用すること。
- (4) 解答終了後、配布された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

本試験問題の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。

( 余 白 )

以降のページに記載する課題 1 と 2 の問いに対する解答を、それぞれの解答用紙（1 枚以内）に書きなさい。

<課題 1 >

日本国内の牛（乳用牛および肉用牛）の飼養頭数，飼養戸数，1戸当たり飼養頭数の現状と最近の動向をまとめ，あなたが将来就職を希望する地域の畜産業の特徴と産業動物獣医師の役割について説明しなさい。

（500字以内）

<課題 2 >

家畜伝染病予防法で獣医師は，家畜防疫員として，特定の病原体に罹患した患畜または疑似患畜を殺処分することが定められています。2010年に発生した家畜伝染病では，発生農場の感染動物と同居動物は殺処分されました。また，発生農場から一定区域内に飼育している家畜は，無症状でも移動制限とワクチン接種が行われ，ワクチン接種家畜は全て強制的に殺処分されました。この病原体の特徴を踏まえて，発生農場の家畜だけでなく，一定区域内の無症状の家畜の殺処分に至った防疫措置の是非について論じなさい。

（500字以内）

( 余 白 )